

はくぶつかんネット

第28号

～ GINOWAN MUSEUM ～

2006年

10～12月

3ヶ月に1回発行

(次号は、1月15日)



↑ 森の川

～ 市内の湧き水 ～



↑ 大山ヒージャガー

発行：宜野湾市立博物館
 〈TEL〉098-870-9317
 〈FAX〉098-870-9316
 〈HP〉<http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>
 〈HP〉<http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>

★ 平成18年度 第2回講演会のご案内 ★

宜野湾市と湧き水 (仮称)

参加者募集!!



博物館 イメージキャラクター

察度くん と 天女ちゃん

■講 師：大城 逸朗 (理学博士・宜野湾市立博物館協議会委員)
 新垣 義夫 (普天満宮宮司・宜野湾市立博物館協議会会長)

■見学日：2006年 12月10日 (日) 午後1時～5時

※終了時間は過ぎる可能性もあります。ご了承ください。

※雨天の際には、12月17日(日)に延期となります。

但し、延期日の17日も雨天になった場合は、市立博物館で講演会を行います。

■見学場所：我如古ヒージャガー (我如古) → 嘉数アガリガー (嘉数) →
 喜友名泉 (喜友名) → ヒージャガー (大山) → 森の川 (真志喜)

※市立博物館に集合し、バスにて移動します。解散は市立博物館。

☆当日は、保険料150円、汚れてもよく動きやすい服装(長そで・長ズボンなど)、運動シューズ、帽子、水筒、雨具を持参。必要な方は虫除け(スプレーなど)もご用意ください☆

★ 要申し込み ★

◆定員：25名 (小学4年生以上)

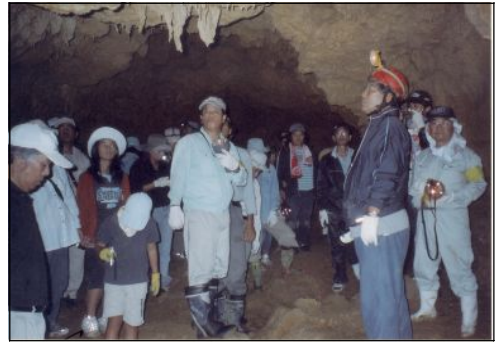
◆申込期間：2006年 11月12日(日)～12月2日(土) 時間は午前9時～午後5時

※申込期間中の火曜日・祝祭日は受付できません。電話受付は可能です。

※申込み多数の場合は抽選。その際には、市内在住・在勤・在学者が優先となります。ご了承ください。

★ 平成18年度 第1回講演会のご案内 ★

宜野湾市の洞窟めぐり No.6 参加者募集!



◎講師：新垣 義夫

(普天満宮宮司・宜野湾市立博物館協議会会長)

◎見学日：2006年 11月25日(土) 午後1時～5時

※終了時間は過ぎる可能性もあります。ご了承ください。

※雨天の際には、12月2日(土)に延期となります。

但し、延期日の2日も雨天になった場合は、市立博物館で講演会を行います。

◎見学場所：普天満宮洞穴(普天間)→クマイーアブ(宜野湾)→

チヂフチャーガマ(浦添市)→マヤーガマ(大山)

※市立博物館に集合し、バスにて移動します。解散は市立博物館。

★ 要申し込み ★

◆定員：20名(小学4年生以上)

※小学4～6年生は親子1組で申し込んでください。

人数に限りがあるため、受付は1家族2名までとなります。

※洞窟内に実際に入ったりするので、体力に自信のない方はご遠慮ください。

◆申込期間：2006年 10月20日(金)～11月10日(金) 時間は午前9時～午後5時

※申込期間中の火曜日・祝祭日は受付できません。電話受付は可能です。

※申込み多数の場合は抽選。その際には、市内在住・在勤・在学者で、初参加者が優先となります。ご了承ください。

☆当日は、保険料150円、汚れてもよく動きやすい服装(長そで・長ズボンなど)、軍手、帽子(できるだけヘルメット)、すべりにくく濡れてもいい靴(雨靴がいいかも)、水筒、大きい懐中電灯、雨具を持参。必要な方は虫除け(スプレーなど)もご用意下さい。☆

◎企画展の報告◎

「あわもり」展、好評の内に終了する!!

去った8月6日(日)～9月3日(日)の期間、市立博物館にて「あわもり～古酒づくりのすすめ～」と題した企画展を開催しました。県内のあちこちから借用させていただいた泡盛関係資料や、古酒の仕次ぎ方法などについて展示しました。

延べ1,353名の見学者が訪れ、沖縄の酒・泡盛について、より関心を深める事ができたようです。見学者からは「予想以上に充実した資料で、びっくりしました。」「古酒づくりを始めたいと思いました」との感想が聞かれました。

今回リピーターも多く、泡盛に対する市民の関心の高さを実感させられた展示会となりました。 比嘉



▲ 熱心に展示物に見入る見学者

★図画作品展の報告★

■ 宜野湾市文化財・民俗・芸能図画作品展終了



▲ 展示会場の様子

夏休みに市内の小・中学生が宜野湾市の文化や風俗、景観を題材に描いた図画を展示する「宜野湾市の文化財・民俗・芸能図画作品展」を、9月24日～10月8日まで開催しました。

今年度の出品数は小・中学校合わせて総数142点。その中から部門ごとに教育長賞各1名、金賞各2名、銀賞各5名、銅賞各10名を選出、上記の賞以外は入賞として展示しました。今年度もレベルの高い作品がたくさん出品されており、審査委員の先生方はとても苦勞して審査していました。

そうした中で今年度の教育長賞受賞者は、普天間第二小学校3年生の島太貴くん、普天間小学校6年生の玉城志伊奈さん、普天間中学校3年生の池宮恵美莉さんの三人となりました。今後も頑張っている絵

を描き、これからも市の文化

や景観を大切にしていって欲しいと思います♪
また、9月24日の表彰式には120名の方が参列し、受賞者へ暖かい拍手を送ってくれました。ご協力いただきました審査委員の先生方や、表彰式にご参列下さいましたご家族や他の皆さん、お疲れさまでした。 末吉



受賞者みんなで記念撮影 →

◎その他の報告◎

■ 学芸員実習

今年度も学芸員資格取得のための実習が、7月21日(金)～7月31日(月)まで行われました。今回は県内の大学(琉大・芸大)から各1名、県外の大学(帝京)から1名の計3名の学生を受入れました。

企画展「あわり展」開催前と言う事もあり、実習期間の大半は、展示資料の調査やまとめ、資料借用、キャプション作成など企画展にちなんだ内容を行いました。また企画展の準備以外にも、わらば一体験じゅく(この月は綱引き)の補助や、市内の文化財巡りとその所在地を地図で確認する作業、学生のみで企画展の案を



▲ 実習の風景 (企画案発表中)

考え発表するなど、様々な事にも取り組んでもらいました。学生からは「ほとんどが直接的に学芸員の仕事に関わらせて頂いたので、頭で考え学ぶというより体で感じ学ぶ、まさに実習だった。」「ここで得た知識や気持ちは、これから先絶対役に立つと思います。」「学校の授業だけでは絶対に学べない、とても良い体験で多くの事を学ぶ事ができたと思います。」といった声が聞かれ、有意義な実習になったのではないかと思います。一人一人が個性的で、自分の考えをしっかりとっていて、なかには夢に向かって頑張っている学生もおり、若いのにしっかりとしているなあ…と思いました(^_^)

実習生の皆さんの、今後の活躍を期待します！ 大城

～ 七五三

* 子どもの健康と幸せを祈る *



10月下旬～11月初旬にかけて、かわいい着物や洋服を身にまとった小さいお子さんを、神宮付近などで見かけた事はありませんか？

そうです、11月15日(水)は七五三です☺ 七五三とは、三歳・五歳・七歳の年が赤ちゃんから幼児へ、幼児から子どもへと心理的・肉体的な成長の節目にあたり、昔は三歳になる

前に死んでしまう子どもが多かった事もあり、神社へお参りをして成長を感謝し、将来の健康と幸せを祈る目的で行われるようになったものです。本来は数え年で、三歳は男女児・五歳は男児・七歳は女児というのが普通ようですが、近年では、数え年齢・満年齢・性別にはこだわりなく行っている傾向もみられるようです。神社ではお祓いをして千歳飴をいただいて帰るのですが、この千歳飴は、飴のように千年までも命がのびて欲しいとの願いが込められた縁起ものです。

また沖縄では、記念写真用にと晴れ着を貸衣装で借り、記念撮影を行う傾向もありましたが、近年では減少していると、とある写真館のオーナーが話していました。

いきなりですが、皆さんはこの行事が沖縄で昔から行われている行事なのか、そうではない行事なのか、ご存知でしょうか？・・・実はこの行事、元々は本土の風習で、沖縄では本土復帰前後から一般でも行われるようになった、比較的新しい行事なのです(*。*) 今年もこの季節がやってきましたが、沢山のチュラスガイしたお子さんを見て目を細くしたいものです(*^_^*) 大城

★ 泡盛酒造所の見学をしてみたいかでしょうか ★

企画展「あわもり ～古酒づくりのすすめ～」の関連イベントとして、酒造所めぐりを開催しました。8月24日(木)は中・南部コースで参加者15名、8月28日(月)は北部コースで参加者14名。午前9時～午後5時までと8時間の酒造所見学でしたが、試飲のお酒のおかげでしょうか、参加者は疲れも見せずにごきげんで帰って行きました。

中・南部コースは新里酒造(沖縄市)、石川酒造場(西原町)、忠孝酒造(豊見城市)、咲元酒造(首里)、瑞泉酒造(首里)の5ヶ所を見学し、北部コースはヘリオス酒造(名護市)、津嘉山酒造所(名護市)、金武酒造の古酒蔵(金武町)、崎山酒造廠(金武町)、神村酒造(うるま市)の5ヶ所を見学しました。

見学者からは「5つの蔵元それぞれの特徴があり、違いを楽しめました。」「各酒造所の方はみんな丁寧な案内(もてなし)で、感謝の気持ちでいっぱいです。」という感想が聞かれ、大好評で終えることができました。

県内にはたくさんの酒造所がありますので、文化と食欲の秋に、泡盛酒造所めぐりはいかがでしょうか。 比嘉



▲ 酒造所めぐり (中・南部コース)



▲ 酒造所めぐり (北部コース)

☆見学については、事前に酒造所に電話確認してくださいね！☆

入館料免除・資料館外貸出の申請について

○ 申請する場合は、手続が必要です。

博物館では入館料の免除申請と、資料の貸出申請を行うことができます。

申請書に必要事項を記入のうえ、入館・貸出を希望する日の 1週間前 (休日や祝祭日を除いた1週間前にご協力お願いします) までに、直接博物館に提出してください。

※申請書は内容等、又は当館の業務に支障がないか検討の上、許可の可・不可の通知を致しますので、よろしくお願い致します。

■ 入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他、館長が免除することが適当であると認めた者。



■ 主な貸出資料

- 収蔵品 ○ ビデオ ○ 写真パネル

～ あなたの家に、眠っていませんか？ ～

博物館では、宜野湾市を中心としたさまざまな生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集に力を入れています。

特に昭和の資料については、広く募集しております。

随時、資料の収集を行っておりますので、「こんなものがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。

～ 市立博物館にて、証明書の交付を行っています ～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館内に設置された交付の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。※今年3月から、証明書の用紙が変わりました。

★注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。
※休館日に祝祭日が重なる場合には、翌日の休みでない日が振替休日となります。
また、くん蒸などの臨時休館日も休みになります。
- 2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。
- 3) 上記のとおり、住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明以外は交付できません。

平成18年度の事業あんない

2006年10月～2007年3月

月 日 曜日	内 容	期 間
毎月第3土曜日 (内容によっては、 変更があります)	第7期 わらばー体験じゅく ★主な体験内容は自然観察会や豆腐作り、 ターナムの収穫などです ○対象は市内在住の小学5・6年生 / 定員30名 / ※保険料徴収	※受付は終了!! 6月～翌年2月まで
11 25 土	見学会「宜野湾市の洞窟めぐり No.6」 講師:新垣義夫氏 ○対象あり / 定員20名 / 要申し込み ※詳しくはネット2pを参照	13～17時まで 保険料徴収
12 10 日	見学会「宜野湾市と湧水(仮称)」 講師:大城逸朗氏、新垣義夫氏 ○対象あり / 定員25名 / 要申し込み ※詳しくはネット1pを参照	13～17時まで 保険料徴収
2～3月頃	ミニ予告展を検討中	

※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容は、事業開催前に配布するチラシ等、あるいは市報や新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネット、ホームページ等をご覧ください。博物館までお問い合わせください。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

★2階の図書室は、無料でご利用できます。

◎ 開館日・入館受付時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時
(入館受付は午後4時30分まで)



◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)
※ その他、くん蒸による臨時休館日あり。
※休館日に祝祭日が重なる場合には翌日の
休みでない日が、振替休日となります。

◎ 常設展示室 観覧料

	大 人	高校・大学生	小・中学生
個 人	200円	100円	50円
団 体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上からとなります。

※ 高校・大学生は、学生証の提示をお願いします。

※ 障害者の方は、障害者手帳を提示すると無料になります。